

学校関係者評価報告書

2020年度

自2020年4月 1日

至2021年3月31日



ÉCOLE DE
PÂTISSERIE
DE TOKIO

学校法人 東京綜合食品学園

東京製菓学校

【目次】

1. 目的
2. 2020年度学校関係者評価委員会開催概要
3. 学校関係者評価委員による自己点検評価へのご意見・ご要望など

1. 目的

学校関係者評価委員会（以下、当委員会）は、東京製菓学校/学校評価実施規程に基づき、東京製菓学校（以下、本校）の自己点検評価の結果について客観性と透明性を高めるとともに、学外の関係者から専門的な助言を得るため、外部評価を実施する機関として当委員会を組織した。当委員会は、本校の自己点検評価を資料として、自己点検評価委員会の内部評価を参考にし、さらに関係教職員との具体的な意見交換等を通して、本校の学校運営・教育活動について検証・評価及び助言を行うことを目的として実施している。当委員会の委員は本校の教育理念を理解し、人材育成等に精通した学外の関係者の中から校長が選考し、委嘱している。

本報告書は、2020年度の自己点検評価報告書を資料として、当委員会としての評価・助言を取りまとめ作成した。

2. 2020年度学校関係者評価委員会開催概要

第1回

① 開催日時

2021年2月26日(金) PM 1:25～PM2:45

② 場所

東京製菓学校 小講堂

③ 出席者（敬称略）

<学校関係者評価委員>

梶山 浩司 <学校法人東京製菓学校/学校長> ※委員長

藪 光生 <全国和菓子協会/専務理事> ※副委員長

持田 謙二 <(社)日本洋菓子協会連合会/事務局長>

松野 泰一 <杉並区立天沼小学校/学校長>

浅見 欣則 <Pâtisserie Yoshinori ASAMI/オーナーシェフ> ※卒業生

④ 欠席者（敬称略）

鴨志田 遼平 <カモベーカリー/オーナーシェフ>※卒業生

<召集された者>

長谷川 献 <自己点検評価委員/委員長>

高江 直樹 <自己点検評価委員/副委員長>

新井 修 <自己点検評価委員>

金田 英継 <自己点検評価委員>

関口 高広 <自己点検評価委員/アドバイザー>

第2回

① 開催日時/概要

2021年5月13日(木) PM 2:00~PM3:15

② 場所

東京製菓学校 小講堂

③出席者（敬称略）

<学校関係者評価委員>

梶山 浩司 <学校法人東京製菓学校/学校長>※**委員長**

藪 光生 <全国和菓子協会/専務理事>※**副委員長**

持田 謙二 <(社)日本洋菓子協会連合会/事務局長>

松野 泰一 <杉並区立天沼小学校/学校長>

浅見 欣則 <Pâtisserie Yoshinori ASAMI/オーナーシェフ>※卒業生

④ 欠席者（敬称略）

鴨志田 遼平 <カモベーカリー/オーナーシェフ>※卒業生

<必要に応じ、召集された者>

林 知子	<学校法人東京製菓学校/総務部部長>
小林 紀夫	<学校法人東京製菓学校/教育部部長>
益田一垂輝	<学校法人東京製菓学校/教育部次長>
長谷川 献	<自己点検評価委員長/教育部和菓子課課長>
高江 直樹	<自己点検評価副委員長/教育部パン課課長>
関口 高広	<学校法人東京製菓学校/会計課課長>
福田 有貴	<自己点検評価委員/議事録作成者>

3. 学校関係者評価委員による自己点検評価へのご意見・ご要望など

第1回開催(2021.02)

●校内視察（和菓子1/洋菓子1A,1C/パン1）

衛生上および感染対策の観点から、白衣着用のうえ、校内視察を行った。

【学校関係者評価委員からのご意見・ご要望】

- ①感染対策で制約が多い中でも、学生の表情はいきいきしているように見える。
- ②教室内もよく整理されており、感染症対策もしっかりとしている。

【当学園からの応答】

ありがとうございます。今後も感染者やクラスターを発生させないように努めます。

●教職員アンケート結果報告（上期）

「学生相談」、「進路・就職相談」に関する体制の連携について、マイナス評価が多い要因を説明した。

分析結果：「教育部⇄総務部の情報共有」が上手く機能していない

改善提案：既存のシステムを使い、情報共有の仕組みを整備する。

【学校関係者評価委員からのご意見・ご要望】

- ①教育部に倣い、総務部も夕礼を実施したらどうか。
- ②電話の取り方や、普段からの心構えで情報共有は進むのではないかと。

【当学園からの応答】

貴重なご意見として承り、今後への反映を検討させていただきます。

- そのほかに、教職員アンケートに関するご意見/ご要望を聴取した。
 - ①回答に責任を持たせるため、匿名方式から記名方式への変更の提言。
 - ②マイナス評価の真意を確かめる為、記入欄の増設。
 - ③授業時間中における、スマートフォン利用の是非。ルールの厳格化。
 - ④一部に見られるセクショナリズムの意識を排除すべきである。

【当学園からの応答】

貴重なご意見として承り、今後への反映を検討させていただきます。

●学生アンケート結果報告（上期）

「有益と思わなかった授業」について、マイナス評価が多い要因を説明した。

分析結果：リモート授業における、受講環境の悪さ。(通信が不安定)

外部講師の固定化に伴う弊害。(時代にあう授業を提供できているか)

授業時間が適切なかどうか。

改善提案：改善工事を実施し、通信の安定性は確保できている。講師については定期的に見極めの機会を増やす。授業時間の適切性については、単位認定の問題もあるので慎重かつ前向きに検討していくこととする。

【学校関係者評価委員からのご意見・ご要望】

- ①「つまらない」＝「有益ではない」とならないはずなので、設問の仕方から考えたほうが良い。
- ②内容をしっかりと伝えられているのであれば、設問に加えなくても良いのでは。

【当学園からの応答】

貴重なご意見として承り、今後への反映を検討させていただきます。

●そのほかに、学生アンケートに関するご意見/ご要望を聴取した。

- ①アンケートの結果や意見は貴重だが、学園としてぶれない姿勢を見せることも大事ではないか。
- ②全ての意見に対応することは実際には難しい。本当に必要なことを取捨選択し、対応していくことが肝要。

【当学園からの応答】

貴重なご意見として承り、今後への反映を検討させていただきます。

第2回開催(2021.05)

●自己点検評価報告書について

(0) 各課各係の方針と目標

【現状の課題点】

各課・各係が設定した基本方針と目標は十分に達成しているという状況であるが、学生課のみ評価を「2」とした。コロナ禍の影響により、予定していたイベントを実施できなかったことに由来する。

【学校関係者評価委員会からのご意見・ご要望】

- ① コロナ禍で実施できないのは、安全・安心を考えたら当然ではないか。出来ないことを前提とした評価とするべきではないか。
- ② コロナ禍における評価としたのであれば、その状況下での評価であることを示すために前文をつけてはどうか。
- ③ 特別な状況下であれば、敢えて評価外とすることも一考してはどうか。

【当学園からの応答】

ご指摘のとおりだと思います。今後は同様のケースとなった場合、その状況に応じた評価をしていきます。

なお、今回は前文をつけてコロナ禍での評価であることを告知したいと思います。また、今後は状況に応じて「評価外」とすることも検討していきます。

ありがとうございました。

(1) 教育理念

【現状の課題点】

充実した施設設備やカリキュラム等、教育環境は整備されており、「菓子是人なり」という基本理念や目的、育成人材像も教職員、学生およびその保護者に周知されている。

【学校関係者評価委員会からのご意見・ご要望】

① 問題なし。

(2) 学校運営

【現状の課題点】

基本的に問題ないと考えている。各項目において、より理解力を高め、周知徹底を図る。

【学校関係者評価委員会からのご意見・ご要望】

①問題なし。

(3) 教育活動

【現状の課題点】

感染対策を徹底した結果、授業における制約は多くなったが、それでも基本理念にそった教育活動を実施できた。

【学校関係者評価委員会からのご意見・ご要望】

①問題なし。

(4) 学習成果

【現状の課題点】

コロナ禍においても(就職希望者の)就職率は100%をキープできている。また、退学者の割合もかなり低い水準を保っている。

【学校関係者評価委員会からのご意見・ご要望】

①特に問題なし。

(5) 学生支援

【現状の課題点】

学生支援体制に大きな問題はない。ニーズに合わせた柔軟な対応がとれており、環境は整備されている。また、職業教育への貢献も欠かしていない。

【学校関係者評価委員会からのご意見・ご要望】

①特に問題なし。

(6) 教育環境

【現状の課題点】

施設・設備はもちろん、防災上も法令点検を受けており、問題はない。
インターンシップについても整備できているが、更なる拡充を目指す。

【学校関係者評価委員会からのご意見・ご要望】

①特に問題なし。

(7) 学生の募集と受け入れ

【現状の課題点】

適正・適切に行われており、問題はない。学納金の妥当性についても同様である。
実施しなかったイベントの学納金（預り金）に関しては返金処理をしている。

【学校関係者評価委員会からのご意見・ご要望】

① 特に問題なし。

(8) 財務

【現状の課題点】

財務状況は好調であり、経営的な問題はない。借入金も全額返済している。

【学校関係者評価委員会からのご意見・ご要望】

①問題なし。

(9) 法令等の遵守

【現状の課題点】

法令に則り、適正な運営を実施している。自己点検評価報告書および学校関係者評価報告書もホームページ上で公表している。

【学校関係者評価委員会からのご意見・ご要望】

① 問題なし。

(10) 社会貢献

【現状の課題点】

コロナ禍において機会は減少したが、社会貢献・地域貢献を継続して行っており、ボランティア活動の支援等も行っている。

【学校関係者評価委員会からのご意見・ご要望】

①特に問題なし。

(11) 国際交流

【現状の課題点】

当学園に対する諸外国／留学生からの評価は高く、今後も積極的・戦略的に留学生の受け入れを続けていく。ただし、留学生と国内学生とのバランスに留意する。また、海外からの入国規制が続いているので、留学生数の受け入れが減少することを見据えた対応を同時に行っていく。

【学校関係者評価委員会からのご意見・ご要望】

①入国制限などの影響を受けて、次年度以降は特に留学生の入学者数に影響があると考えられるが、テコ入れ策は何か検討しているのか。

【当学園からの応答】

オープンキャンパスの実施回数の増加や、これまで実施していなかった時期に実施するなどに対応し、留学生の入学者数が見込めない部分を日本人学生の増加につなげたいと考えています。

また、日本語学校への訪問を増やし、情報収集や募集強化、状況把握に努め、早期の回復や対応ができるように体制づくりを進めます。

●教職員アンケートおよび学生アンケート結果報告（下期）

下期のアンケート結果を報告し、学校関係者評価委員よりご意見を頂戴した。

【学校関係者評価委員会からのご意見・ご要望】

- ①アンケートの内容を更に把握するためには、記名方式での実施やその理由を自由に記入できる欄を設けることが必須だと考える。また、発言に責任を持たせるためにも絶対にアンケート形式を変えたほうが良い。
- ②肯定的意見よりも否定的意見の内容把握に努め、それを改善につなげることが現実的ではないだろうか。また、より効率的ではないだろうか。
- ③学生アンケートの内容を学生に公表できているのか。出来ていないのであれば、絶対に公表すべきである。学生はその結果を見ることで、学生なりに考えて行動するようになるはずであり、学校の改善の姿勢をより実感するはずである。

【当学園からの応答】

ご指摘ありがとうございます。アンケートの設問内容や実施形式に関しましては、早速次回より変更とさせていただきます。また、アンケート結果の公表につきましても次年度より実施します。

<その他、学校運営に関するご意見>

●教育部・総務部間の意思疎通について

途上ではあるが、改善の兆しがみられることを報告する。

【学校関係者評価委員会からのご意見・ご要望】

- ①改善傾向や進歩は見受けられるが、経過報告の部分が足りないのでは。まだまだ伝達能力、コミュニケーション能力の不足が感じられる。

【当学園からの応答】

ご指摘ありがとうございます。教職員が個々に意識して変えていくように指導を強化いたします。

●授業中におけるスマートフォンの利用について

長谷川自己点検評価委員長より、学園内におけるスマートフォン利用のルールと現況説明を行う。その後、梶山委員長より世の流れがICT化に向かっているので、授業内においてもデジタル化の仕組みの導入を前向きに検討したいとの説明を行った。

【学校関係者評価委員からのご意見・ご要望】

- ①時代の潮流を意識することは分かるが、使用についての否定的見解が根強いことも忘れてはいけない。
- ②便利であることを否定しないが、道具に「使われる」ようなことがあってはならない。どちらかという、現状は「使われている」印象を受ける。
- ③利便性と引き換えに、失うものも多いイメージが強い。ルールに穴があれば、モラルの欠如や衛生面でのマイナスにつながりかねない。また、ICT化とスマートフォンの利用は別問題だと考える。
- ④GIGAスクール構想は確かに進行しつつあり、実際に授業でも使用している。ただし、教科書は未だに紙の本を使用しており、アナログ部分もまだまだ現役である。人間の記憶に刻むという面では、板書を手書きで書き写すほうが勝っている。
- ⑤実習もあれば座学もあるので、一括りにルールを作るのは難しいのでは。
- ⑥現段階で結論付けるのは困難ではないか。また、ルールだけでなく、社会的マナーやモラルも同時に厳しく教える必要がある。
- ⑦スマートフォンが身近にあることが当たり前のように世の中はなっているが、その状況を授業の中にまで持ち込むことには違和感を覚える。また、無意識だとは思いますが教師側もそれを受け入れているように感じてならない。

【当学園からの応答】

たくさんのご指摘ありがとうございます。難しい問題であることを学園としても再認識いたしました。ICT化の是非について検討しながらも、委員の方々からのご意見を真摯に受け止め、学園の方向性を考えていきたいと存じます。

●学費の返還について

実施できなかったイベントに対する学費は返金処理を行った。

ただし、①返金の情報がうまく伝わらなかった、②相殺処理で対応したため、返金の実感が薄かったことなどに対し、数件のクレームを受けた。

【学校関係者評価委員会からのご意見・ご要望】

①対応としては面倒かもしれないが、現金での返金がいいのではないか。

もしくは、相殺処理をするにしても受領サインをもらうなどの対応をすれば実感がわくのではないか。

【当学園からの応答】

ご指摘ありがとうございます。今後の参考とさせていただきます。

【まとめ】

これらの課題に対し、学校関係者評価委員会から頂いたご意見・ご要望を真摯に受け止め、教職員一丸となり課題を解決し、業界を牽引する人材の育成・輩出に今後も取り組んでいく所存である。

本報告書に関するお問い合わせは下記まで。



ÉCOLE DE
PÂTISSERIE
DE TOKIO

東京都新宿区高田馬場1-14-1

学校法人 東京製菓学校

学校関係者評価委員会

☎ 03 (3200) 7171

✉ info@tokyoseika.ac.jp